

* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイル 景況調査



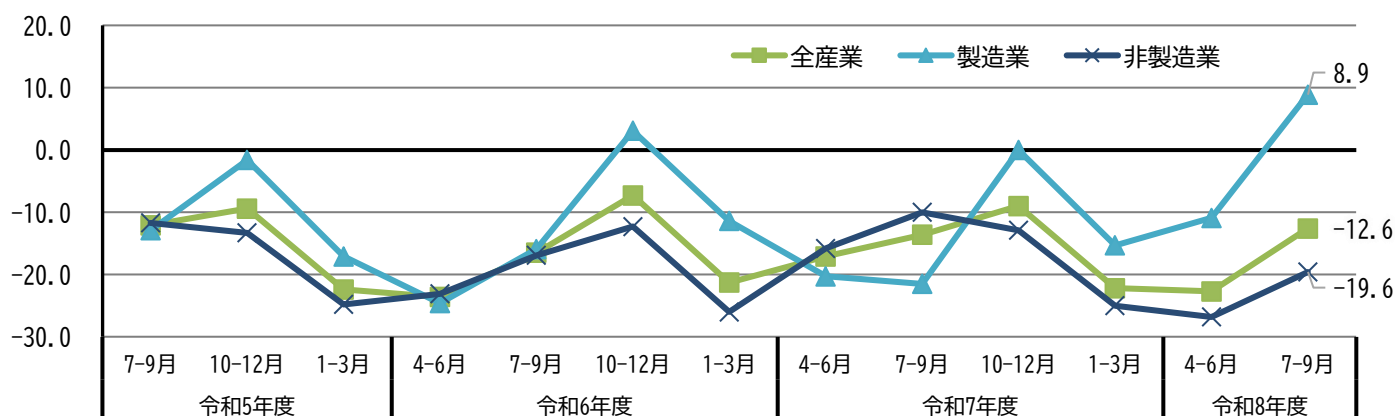
業況判断 DI は、全産業、製造業、非製造業とも改善。

- ◆製造業 規模別の業況：大企業は大幅な改善、中小企業は改善
- ◆非製造業 業種別の業況：建設業、卸売業は大幅な改善、サービス業は改善、小売業は悪化
- ◆（原材料）仕入価格：製造業、非製造業とも低下するも、DI は約 60～90 ポイントと高水準
- ◆外国人材の雇用：外国人材を雇用する事業所は 17.6%。特に製造業で 34.0%。

◆業況判断（前期比）注（ ）内は前回調査との差を示します。

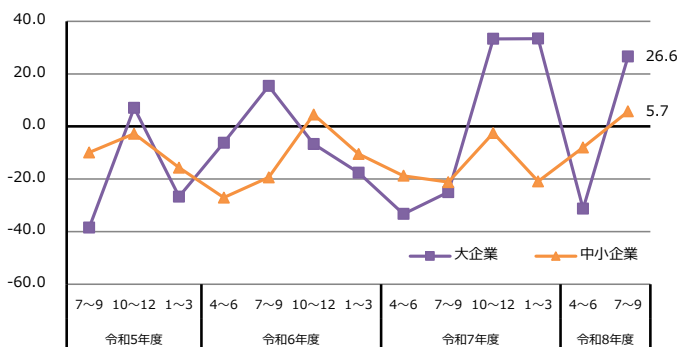
<全体>

業況判断 DI は、▲12.6（+10.1）で改善しました。業種別では、製造業は 8.9（+19.8）で改善、【非製造業】は▲19.6（+7.2）で改善しました。



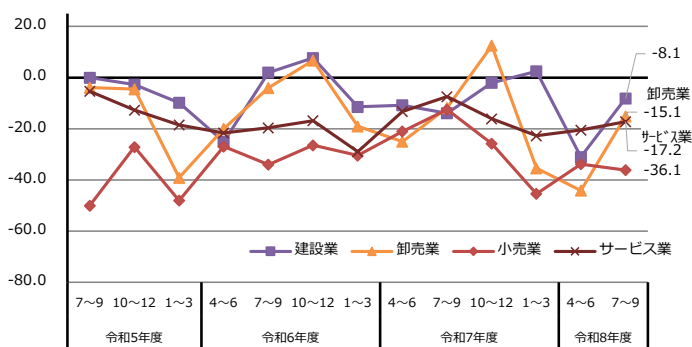
<製造業（規模別）>

大企業は 26.6（+57.9）で大幅な改善、中小企業は 5.7（+13.7）で改善しました。



<非製造業（業種別）>

建設業は▲8.1（+22.9）、卸売業は▲15.1（+29.0）でともに大幅に改善しました。小売業は▲36.1（-2.3）で悪化、サービス業は▲17.2（+3.3）で改善しました。



DI とは

景気動向指数「デフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」）と回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」）と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です

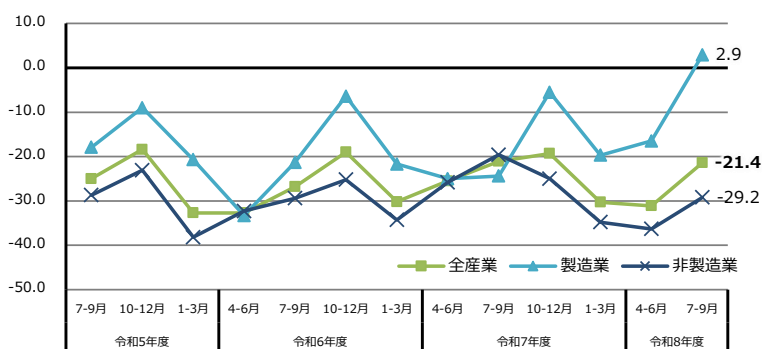
◆業界天気図



業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

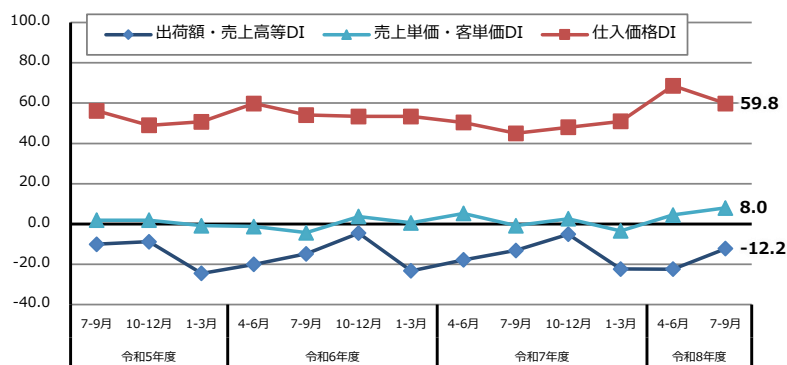
◆収益（前期比）

- ・収益 DI は、全産業で▲21.4 (+9.7) と、改善しました。
- ・製造業は 2.9 (+19.4)、非製造業は ▲29.2 (+7.1) で、ともに改善しました。



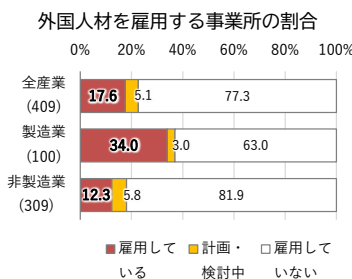
◆売上高、売上単価・仕入価格（前期比）

- ・全産業の出荷額・売上高・完成工事高 DI は ▲12.2 (+10.2) で改善しました。
- ・売上単価・客単価 DI は 8.5 (+3.5) と上昇しました。
- ・(原材料) 仕入価格 DI は、59.8 (-8.8) と低下しましたが、仕入価格が上昇したと回答した事業所が、約 6 割を占めている状況です。

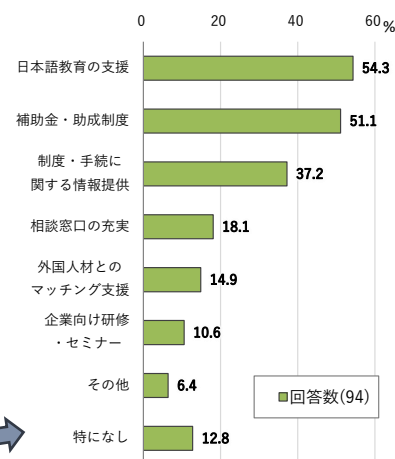


◆外国人材雇用の状況

- ・外国人材を雇用する事業所は 17.6%、今は雇用していないが計画中・検討中は 5.1%でした。
- ・業種別にみると、雇用する事業所は製造業で 34.0%、非製造業で 12.3%でした。
- ・外国人材を雇用する、及び、計画中・検討中の事業所が、その雇用に関して期待する支援は「日本語教育の支援」が 54.3%で 1 位でした。



外国人雇用に関わって期待する支援



<本資料の問い合わせ先>

■ 尼崎市 経済環境局経済部 イノベーション推進担当
 ■ (公財) 尼崎地域産業活性化機構 事業課 調査担当
<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>

担当：南條・織田
 担当：宮崎・名井

連絡先：06-6489-6675
 連絡先：06-6488-9565